

## 平成30年7月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年9月13日

上場会社名 株式会社 ブラス 上場取引所 東 名  
 コード番号 2424 URL <http://www.brass.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 達明  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 河合 智行 TEL 052-571-3322  
 定時株主総会開催予定日 平成30年10月30日 配当支払開始予定日 平成30年10月31日  
 有価証券報告書提出予定日 平成30年10月31日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年7月期の業績（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

#### （1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期	9,711	8.3	691	△15.5	709	△10.5	226	△54.2
29年7月期	8,966	26.2	818	33.9	792	38.0	495	55.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年7月期	39.70	—	7.0	8.0	7.1
29年7月期	88.15	—	17.3	10.1	9.1

（参考）持分法投資損益 30年7月期 一百万円 29年7月期 一百万円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期	9,297	3,322	35.7	581.98
29年7月期	8,462	3,153	37.3	552.28

（参考）自己資本 30年7月期 3,322百万円 29年7月期 3,153百万円

（注）当社は、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

#### （3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年7月期	1,125	△1,291	442	949
29年7月期	1,167	△1,814	410	672

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00	57	11.3	2.0
30年7月期	—	0.00	—	12.00	12.00	68	30.2	2.1
31年7月期（予想）	—	0.00	—	12.00	12.00		18.6	

（注）1. 平成29年7月期期末配当金の内訳 普通配当7.5円 記念配当2.5円

2. 平成30年7月期の期末配当金12円については、平成30年10月30日開催予定の定時株主総会にて決議する予定であります。

3. 平成31年7月期の業績予想（平成30年8月1日～平成31年7月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,703	3.5	303	12.3	309	11.7	185	13.0	32.57
通期	10,010	3.1	600	△13.1	613	△13.5	368	62.4	64.49

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期	5,709,300株	29年7月期	5,709,300株
② 期末自己株式数	30年7月期	－株	29年7月期	－株
③ 期中平均株式数	30年7月期	5,709,300株	29年7月期	5,617,838株

（注）当社は、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成30年9月19日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(損益計算書関係) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益や雇用環境に改善が見られるものの、個人消費は依然として横ばい圏の推移が続いております。世界経済につきましては、米国の政策動向や世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するウェディング業界におきましては、少子化の進展・結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかな減少傾向にあります。一方で、ハウスウェディングの需要は底堅く推移し挙式・披露宴にかかる費用は年々増加傾向にあります。

このような環境の中、当社は「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」との企業理念に基づき、一軒家を完全貸切り、施設全体を利用した多彩な演出を実現、自宅にお客さまを招く感覚で挙式・披露宴を上げることができる仕組みを確立しており、すべての会場を「1チャペル・1パーティ会場・1キッチン」とし、貸切の贅沢感を重視しております。また、結婚式場としては小型店舗のため、用地確保の難しい大都市から、人口が比較的少ない郊外においても出店を可能とし、事業展開をしております。

10月には当社初のM&Aにより「オリゾンプルー（静岡県沼津市）」がオープンし、出店戦略の選択肢を増やすことができました。

また、当事業年度においては、新規予約を本部コールセンターに集約し電話対応の向上を図り、新規サロンの営業日を増やし来館数増加の体制を整えました。さらに昨年に引き続きSNSの有効活用など広告の強化による集客力の向上、店舗の内装コーディネートやディスプレイの充実により訴求力を向上させました。顧客に対しては、前撮りアルバム、DVD撮影、アフターブーケ製作などの思い出の品となる商品を積極的に販売し、一顧客あたりの売上単価は前年比139千円増（3.8%増）の3,782千円となりました。さらに、次なる出店を見据えた72名の新卒採用を実施し、集客向上および顧客満足度向上のため既存店のメンテナンスを充実しました。

その結果、当事業年度における売上高は9,711,990千円（前事業年度比8.3%増）、営業利益691,180千円（前事業年度比15.5%減）、経常利益709,336千円（前事業年度比10.5%減）、当期純利益226,681千円（前事業年度比54.2%減）となりました。

なお、当社はウェディング事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は1,225,127千円（前事業年度末比295,206千円増）となりました。これは主に、現金及び預金（前事業年度末比276,754千円増）が増加したことによるものであります。

## (固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は8,072,023千円（前事業年度末比539,682千円増）となりました。これは主に、オリゾンプルーの新規出店等に伴い有形固定資産（前事業年度末比410,602千円増）が増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は2,604,738千円（前事業年度末比401,067千円増）となりました。これは主に、短期借入金（前事業年度末比250,000千円増）及び未払金（前事業年度末比173,856千円増）が増加したことによるものであります。

## (固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は3,369,698千円（前事業年度末比264,233千円増）となりました。これは主に、長期借入金（前事業年度末比277,270千円増）が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当事業年度末における純資産の残高は3,322,714千円（前事業年度末比169,588千円増）となりました。これは、利益剰余金（前事業年度末比169,588千円増）が増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ276,751千円増加し949,324千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は1,125,090千円（前事業年度は1,167,550千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益を404,547千円及び減価償却費を659,642千円計上したことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は1,291,236千円（前事業年度は1,814,690千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,220,763千円及び差入保証金の差入による支出50,508千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果得られた資金は442,897千円（前事業年度は410,071千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,255,000千円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出971,262千円等によるものであります。

## （参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年7月期	平成28年7月期	平成29年7月期	平成30年7月期
自己資本比率（％）	24.7	35.5	37.3	35.7
時価ベースの自己資本比率（％）	—	43.4	71.9	49.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	5.1	3.2	3.0	3.5
インタレスト・ガバレッジ・レシオ（倍）	15.2	23.0	46.3	52.5

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

(注) 1. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

2. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としています。

3. 当社株式は、平成27年7月期以前は非上場のため時価ベースの自己資本比率を記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

次期の業績予想としましては、当期に出店したオリゾンブルーが通年稼働すること、平成31年4月に大阪市梅田地区にブルーグレース大阪（20号店）を、平成31年5月に静岡県浜松市にアーブルオレンジ（21号店）を出店することにより、売上高10,010,991千円（前事業年度比3.1%増）、営業利益600,616千円（前事業年度比13.1%減）、経常利益613,616千円（前事業年度比13.5%減）、当期純利益は368,170千円（前事業年度比62.4%増）を見込んでおります。

本資料に掲載されている当社の次期業績予測は、当社が現時点において入手可能な情報による判断及び計画策定の前提としている仮定などに基づくものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当事業年度 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	712,832	989,586
売掛金	27,651	34,265
商品	40,644	47,511
貯蔵品	45,305	51,715
前払費用	78,573	74,667
繰延税金資産	29,839	27,519
その他	1,186	5,973
貸倒引当金	△6,111	△6,111
流動資産合計	929,921	1,225,127
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,200,027	8,752,413
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,514,611	△3,175,832
建物（純額）	5,685,416	5,576,580
構築物	764,455	834,207
減価償却累計額及び減損損失累計額	△386,690	△461,152
構築物（純額）	377,764	373,054
機械及び装置	657	1,063
減価償却累計額及び減損損失累計額	△611	△688
機械及び装置（純額）	46	375
車両運搬具	25,979	26,368
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,473	△20,930
車両運搬具（純額）	8,505	5,437
工具、器具及び備品	818,787	948,366
減価償却累計額及び減損損失累計額	△537,564	△706,334
工具、器具及び備品（純額）	281,222	242,031
土地	58,860	401,608
建設仮勘定	307,699	531,027
有形固定資産合計	6,719,514	7,130,116
無形固定資産		
のれん	53,530	42,642
ソフトウェア	17,815	37,504
その他	8,553	7,363
無形固定資産合計	79,899	87,511
投資その他の資産		
出資金	30	30
差入保証金	368,667	402,074
長期前払費用	52,662	4,996
繰延税金資産	309,799	445,527
その他	1,767	1,767
投資その他の資産合計	732,927	854,395
固定資産合計	7,532,340	8,072,023
資産合計	8,462,262	9,297,151

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当事業年度 (平成30年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	303,917	308,885
短期借入金	—	250,000
1年内償還予定の社債	34,200	2,500
1年内返済予定の長期借入金	896,474	902,942
未払金	326,134	499,991
未払費用	75,091	68,196
未払法人税等	226,311	174,062
未払消費税等	53,952	115,732
前受金	246,223	252,602
その他	41,363	29,824
流動負債合計	2,203,670	2,604,738
固定負債		
社債	2,500	—
長期借入金	2,559,466	2,836,736
退職給付引当金	50,459	59,980
資産除去債務	313,040	292,982
その他	180,000	180,000
固定負債合計	3,105,465	3,369,698
負債合計	5,309,136	5,974,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,556	534,556
資本剰余金		
資本準備金	514,556	514,556
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	60,705	60,705
資本剰余金合計	575,261	575,261
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,043,309	2,212,897
利益剰余金合計	2,043,309	2,212,897
株主資本合計	3,153,126	3,322,714
純資産合計	3,153,126	3,322,714
負債純資産合計	8,462,262	9,297,151

## （2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日）	当事業年度 （自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日）
売上高	8,966,816	9,711,990
売上原価		
商品期首たな卸高	29,390	40,644
当期商品仕入高	3,413,842	3,682,297
合計	3,443,233	3,722,942
他勘定振替高	34,444	39,629
商品期末たな卸高	40,644	47,511
商品売上原価	3,368,143	3,635,801
売上総利益	5,598,672	6,076,189
販売費及び一般管理費	4,780,298	5,385,008
営業利益	818,373	691,180
営業外収益		
受取利息	19	13
受取賃貸料	25,015	30,525
その他	8,202	9,623
営業外収益合計	33,237	40,162
営業外費用		
社債利息	882	253
支払利息	24,332	21,175
株式交付費	3,253	—
株式公開費用	20,896	—
その他	9,312	578
営業外費用合計	58,677	22,006
経常利益	792,933	709,336
特別利益		
固定資産売却益	83	—
特別利益合計	83	—
特別損失		
固定資産除却損	13,190	12,679
減損損失	—	292,109
特別損失合計	13,190	304,788
税引前当期純利益	779,826	404,547
法人税、住民税及び事業税	320,701	311,275
法人税等調整額	△36,083	△133,408
法人税等合計	284,617	177,866
当期純利益	495,208	226,681

## （3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
			自己株式 処分差益		繰越利益 剰余金			
当期首残高	471,740	451,740	60,705	512,445	1,576,052	1,576,052	2,560,237	2,560,237
当期変動額								
新株の発行	62,816	62,816		62,816			125,632	125,632
剰余金の配当					△27,952	△27,952	△27,952	△27,952
当期純利益					495,208	495,208	495,208	495,208
当期変動額合計	62,816	62,816	—	62,816	467,256	467,256	592,888	592,888
当期末残高	534,556	514,556	60,705	575,261	2,043,309	2,043,309	3,153,126	3,153,126

当事業年度（自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
			自己株式 処分差益		繰越利益 剰余金			
当期首残高	534,556	514,556	60,705	575,261	2,043,309	2,043,309	3,153,126	3,153,126
当期変動額								
剰余金の配当					△57,093	△57,093	△57,093	△57,093
当期純利益					226,681	226,681	226,681	226,681
当期変動額合計	—	—	—	—	169,588	169,588	169,588	169,588
当期末残高	534,556	514,556	60,705	575,261	2,212,897	2,212,897	3,322,714	3,322,714

## （4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日）	当事業年度 （自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	779,826	404,547
減価償却費	513,431	659,642
減損損失	—	292,109
のれん償却額	907	10,887
退職給付引当金の増減額（△は減少）	8,159	9,520
貸倒引当金の増減額（△は減少）	519	—
受取利息及び受取配当金	△19	△14
支払利息及び社債利息	25,215	21,428
株式交付費	3,253	—
株式公開費用	20,896	—
有形固定資産除却損	13,190	12,679
有形固定資産売却損益（△は益）	△83	—
売上債権の増減額（△は増加）	6,097	△6,613
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23,092	△13,276
仕入債務の増減額（△は減少）	31,386	4,967
未払消費税等の増減額（△は減少）	38,913	61,780
その他	84,964	43,895
小計	1,503,567	1,501,555
利息及び配当金の受取額	19	14
利息の支払額	△25,651	△21,431
法人税等の支払額	△310,385	△355,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,167,550	1,125,090
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,266	△40,266
定期預金の払戻による収入	40,260	40,263
有形固定資産の取得による支出	△1,490,307	△1,220,763
有形固定資産の除却による支出	△1,010	△850
有形固定資産の売却による収入	83	—
無形固定資産の取得による支出	△10,615	△36,212
事業譲受による支出	△305,000	—
差入保証金の回収による収入	7,057	17,100
差入保証金の差入による支出	△14,881	△50,508
その他投資等	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,814,690	△1,291,236
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	250,000
長期借入れによる収入	1,417,278	1,255,000
長期借入金の返済による支出	△922,696	△971,262
社債の償還による支出	△58,200	△34,200
株式の発行による収入	122,378	—
株式公開費用の支出	△20,896	—
配当金の支払額	△27,792	△56,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	410,071	442,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△237,068	276,751
現金及び現金同等物の期首残高	909,641	672,572
現金及び現金同等物の期末残高	672,572	949,324

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (損益計算書関係)

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類
愛知県（2店舗）	店舗設備	建物他

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最少単位として、店舗を基本単位としてグルーピングをし、減損損失の認識を行っております。

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであり、また、継続してマイナスとなる見込みである店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（292,109千円）として特別損失に計上いたしました。

減損損失の内訳は、建物241,511千円、構築物28,423千円、工具、器具及び備品21,909千円及びその他（無形固定資産）265千円であります。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、対象資産は売却見込がないため、正味売却価額はゼロとしております。

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

セグメント情報

当社は、ウェディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （1株当たり情報）

	前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	当事業年度 (自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日)
1株当たり純資産額	552.28円	581.98円
1株当たり当期純利益金額	88.15円	39.70円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	当事業年度 (自 平成29年8月1日 至 平成30年7月31日)
当期純利益金額（千円）	495,208	226,681
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	495,208	226,681
期中平均株式数（株）	5,617,838	5,709,300

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。